



2023年11月10日

各位

会社名 イーレックス株式会社
代表者名 代表取締役社長 本名 均
(コード番号：9517 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役 安永 崇伸
(TEL. 03-3243-1167)

2024年3月期通期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年5月12日に公表しました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の通期連結業績予想および配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

(注) 下記の業績予想及び配当予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当及び業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想の修正について (2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当りの 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 228,000	百万円 7,700	百万円 7,500	百万円 4,400	円 銭 74.27
今回修正計画 (B)	219,400	▲21,300	▲19,800	▲22,000	▲371.72
増減額 (B-A)	▲8,600	▲29,000	▲27,300	▲26,400	
増減率	▲3.7	—	—	—	
(ご参考) 当第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	120,894	▲10,704	▲9,220	▲11,162	▲188.31

(2.) 修正の理由

当期第2四半期累計期間において、販売単価の下落等により、売上高は前回予想から微減となる見込みになりました。

営業利益、経常利益については、2023年度に向けた電源の確保を進めていた2022年後半の時点における2023年度のJEPXのスポット価格の想定が30円/kWhを超えていたため、



このような水準の価格を前提に、電源の調達を行ってまいりました。また、平年を鑑み今期においてもその高値が継続するであろうと見通しを立て、JEPXの価格高騰リスクに備え、小売需要に対して十分な相対電源を確保いたしました。

しかしながら、今年度に入りJEPXのスポット価格が想定より低位に推移したことで、結果的に調達電源が割高になり、また、低圧需要を市場連動メニューに変更したことや、大口需要の減少が生じたことで、2022年度に調達した割高な電力に余剰が発生し、低価格のJEPXへの販売が必要となり逆ザヤが発生しました。さらに、2022年8月1日に当社グループ会社となった糸魚川発電所が、石炭価格高騰により稼働率を抑制させた影響もあり、前回予想を大幅に下回る収益見通しになりました。

この結果、通期の連結業績予想について、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益を上記のとおり修正いたします。

2. 配当予想の修正について

	年間配当				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年5月12日発表)	—	—	—	円 銭 22.00	円 銭 22.00
今回修正	—	—	—	未定	未定
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2023年3月期)	—	—	—	22.00	22.00

(1.) 修正の理由

期末の配当については、下期以降の経営環境に不透明要因が多いことに鑑み、未定とさせていただきます。

尚、当社は、経営基盤を強化し、成長路線の確立を図るとともに、財務体質をより一層充実させ、期待される企業を目指して、安定した配当を継続して行くという経営の基本方針に変更はありません。

以上